

優秀賞

## 次は勝てるよ

愛媛県 今治市立南中学校二年 三谷 妃愛

私は変わったのか。

今日は新チームになっての初めての試合だ。ドキドキで胸がはれつしそうだったが、ちよつとした、いや、大変な事件がおきた。部旗を忘れてしまったのだ。私の確認不足。一大事だ。ここは島のまん中、すぐに取りに帰れる場所じゃない。一応キャプテンの私の母が取りに帰ると言い出した。みんなの前だからニコニコしているが、あれはけっこう怒っている顔だ。なんとか母が試合の始まる前に部旗をもってきてくれた。ドタバタしての、私たちの初試合が始まる。

ドキドキの一セット目。さかのぼれば、早一ヶ月近くになる。新チームになって、私はキャプテンだ。プレーも精神力も声も一番がんばらないとつとまらない。七月の終わり、私は新チームになって、初めて部活中に泣いてしまった。できないのが悔しくて、

先生に怒られて、しまいには、

「お前、キャプテンかえるか。」

と言われた。その瞬間悔しくて、唇から血が出そうなくらい歯をくいしばった。泣いて、泣いて、泣いて、その時決めたんだ。ぜったいみんなの前で泣かない。先生の前でも、ぜったい泣かない。次の日の部活から、私は泣かなくなった。怒られても、失敗しても、泣かずに次のプレーを成功させた。そのおかげで、プレーの質もよくなっていった気がしてきた。一セット目はみんなとがんばって勝った。二セット目も勝った。みんな心の底から笑って喜んだ。次勝てば準決勝進出。相手は総体で負けた相手、でもこの調子なら勝てると思っていた。今考えれば、それが甘かったのかもしれない。一セット目は負けてしまったが、二セット目はとり返した。むかえた三セット目は、追いつめたのに負けた。みんなは、

タオルで顔をかくし、泣いていた。私も泣きそうだったけど、ニコニコして、あのプレーはすごかったよ。とか、総体よりは全然いい試合だったよ。と言ってみんなを上げました。無愛想とか、無神経とか、泣いている子は思ったかもしれない。でも私はキャプテンらしく今日の試合を終えた。

家に帰ったら、母を見て、そういえばと思った。もちろんいっぱい怒られたが、その分試合のことについてほめてくれた。母が急に泣き出して、どうしたのかと聞くと、試合に負けたのに、悔しいはずなのに、私がみんなをなくさめる姿、キャプテンの背中に近づいている私の姿に感動したそう。私は部屋に戻りドアを閉めて、泣かないと決めたあの日から、ちやぶちやぶにたまった涙をぜんぶ流した。パンパンにふくれた私の目を見て母は

「次は勝てるよ。」

と言ってくれた。母の言葉と涙で、私は一皮むけた気がする。私は変われているよ。自分にそう言い聞かせるのだった。

